

保護者等からの事業所の集計結果(公表)

公表: 令和 5年 4月 1日

事業所名 児童発達支援 つなぐ 桜支店

保護者等数(児童数) 8 回収数 8 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見をふまえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	0	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	8	0	0	0		
	③	生活空間は、子ども達にわかりやすい構造化された環境 <sup>i</sup> になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリーや情報伝達等への配慮が適切にされているか	6	2	0	0		教室内は構造化されていて、視覚情報での誘導もされています。バリアフリーについては賃貸の為、現状からの変更は難しいです。
	④	生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	1	0	0		
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、児童発達支援計画 <sup>ii</sup> が作成されているか	8	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	0	0	0		
	⑦	活動プログラム <sup>iii</sup> が固定化されないよう工夫されているか	7	1	0	0	・色々なことを体験させてもらってます。 ・段階づけがされていて、本人が取り組みやすいように工夫して下さっていると感じます。私も勉強になります。	ありがたいお言葉ありがとうございます。児童発達支援は個別でのトレーニングが主になっております。今後もそれぞれのお子様にあった活動を提供していきます。
	⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	1	0	1		現在のところ、実施実績も予定もございません。
	⑨	契約時に、運営規則や利用者負担等について丁寧な説明がされたか	8	0	0	0		

保護者への説明等	⑩	「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づいて作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	8	0	0	0		
	⑪	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング <sup>iv</sup> 等)が行われているか	6	1	0	1		
	⑫	日頃から子どもの状況を保護者と共有し、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	8	0	0	0	・先生が丁寧にお話して下さるので分かりやすいです。	
	⑬	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	0	0	0	・就学に向けて一度先生とお話しする機会を持てたら嬉しいです。	貴重なご意見ありがとうございます。面談は6ヶ月に1度対面で行っております。、また、連絡帳内では足りない部分は、別途LINEを活用し、ご家族とのやりとりを大事にし
	⑭	父母の会の活動支援や、保護者会等を開催し保護者同士の連携を支援しているか	8	0	0	0		以前まではコロナ禍という事もあり、保護者会、ペアレントトレーニングの開催を自粛しておりましたが、今年度から再開致しました。今後も年に1度の開催を検討しております。
	⑮	子どもや保護者からの相談や要望があった際に、迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	0		
保護者への説明等	⑯	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がされているか	8	0	0	0	・毎回丁寧な活動記録を頂けるので、ありがたいです。いつも読むのを楽しみにしています。	
	⑰	定期的に活動概要や行事予定、利用連絡等、連絡体制等がスムーズに行われているか。また、業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して会報やホームページ等で発信されているか	8	0	0	0		
	⑱	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	8	0	0	0		

非常時等の対応	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか	7	0	0	1		
	㉓	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	2		配布時期と利用開始時期によりラグが発生する事から、契約時に対応マニュアルの配布をするようにしました。
満足度	㉔	子どもは通所を楽しみにしているか	8	0	0	0	・通い始める前は嫌がらずに通ってくれるか心配でしたが、本人も毎回楽しみにしているようで安心しました。	ご意見ありがとうございます。今後ともよろしく願っています。
	㉕	事業所の支援に満足しているか	8	0	0	0		

(注釈)

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がいの特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することをも目標とします。

.....